

「桜を見る会」問題、日本共産党と野党の追及に大きな反響 各地で「赤旗」購読の申し込み



「桜を見る会」問題は、ついに野党共闘の「追及本部」が立ち上がるなど大きな発展を見せています。同時に、その中心になって「税金による政治買収を許すな」と奮闘する日本共産党への期待と関心が広がっています。

中国地方各地でも、党本部への「赤旗購読の申し込み」が増えています。岡山のある方は『「桜を見る会」の取材の確かさで読みたくなりました』と購読の申し込みをしています。チャンスです。大きく打って出ようではありませんか。

(写真は、11月23日に岡山市で行われた「市民と立憲野党の合同宣伝」で訴える大平喜信前衆議院議員)

公的病院再編リストは撤回を 鳥取県委員会が厚生労働省に迫る

11月19日、日本共産党鳥取県委員会は、島根原発に対する周辺自治体の権限、美保基地への新型空中給油輸送機 KC46A 配備問題、国保の保険証返還問題など切実な県民要求で政府交渉を行いました。(写真)

とりわけ、厚生労働省が9月26日に、公立・公的病院など424病院の統廃合を実名を挙げて発表した問題では、地域の自治体や医療機関からも「地域の実情を踏まえない頭ごなしのやり方は許せない」などの声が挙げられていることを紹介しながら、「リストの撤回を」と迫りました。



交渉には、市谷知子県議、岡田正和衆議院鳥取1区予定候補らが参加、大平喜信前衆議院議員が同席しました。

各地で「大運動」成功へ・・・益田市では15人の読者拡大

党大会決議案を読んだ確信や思いを力に、「党勢拡大運動」の取り組みが、中国5県の各地で広がっています。11月21日発行の「島根県党ニュース」の記事を紹介します。

「益田市の岡崎地区常任委員は、10月に続き訪問活動で奮闘し、11月も15人の日曜版読者を拡大しています。また、自ら職場支部に援助に入り、綱領一部改訂で出された意見などを紹介し、議論を深める援助を行っています・・・」